

『小中屋文書』の「手習本」

分類史料の内容

宇佐美 孝

『小中屋文書』は、白山の西麓、大日川の流域に位置する須納谷村（現小松市花立町）の庄屋小中屋に伝わるもので、須納谷村は白山麓十八ヶ村と称される幕府直轄地の一村であり、十八ヶ村の中では西谷地区五ヶ村（大日川流域）の一村であった。

白山麓の山間に立地し、さらに支配形態の相違による周辺地域との区分など、生活面の孤立・閉鎖性は免れないものがあったと言ってよいであろう。

このような中において、生活の中での交際・儀礼・教養及び庄屋としての任務など、小中屋家としての伝達手段を「手習本」史料の中に見ることが出来るのではなかろうか。

『小中屋文書』については、1992年に金沢大学資料館によって目録が刊行されており、それによると「手習本」に分類されているものが123点、「文書雛形」に分類されているものが7点となっている。これらを形態的に見ると「手習本」分類のものの大半は、一紙の同形態を持ち、文面も七行書の短文書面であるという共通特徴を持つ。「雛形」分類のものは袋綴・長帳・一紙と形態は種々であるが、内容的には「手習本」分類のものと共通するものがあり、書簡（一紙）の形態のままとしたものと、これらを冊子に編集したものの区分と理解してよいであろう。

〔内容〕

手習本・雛形の内容は別表に示したが、これらのうち手紙文の形態を持つものについて整理すると、①四季の行事に関するものとして、新年祝状十二・暑中見舞状二・歳暮状二・寒中見舞状一・年末挨拶状一・時候挨拶状一、②生活の様式・慣例に関するものとして、死去悔状四・音信状七・病氣見舞状二・贈答（交際）状二十・手習稽古通知四、③商・産業に関するものとして、物品注文書十四・物品送状四・貸借書二十二・相場尋状二・雇人依頼状四・蚕種売通知二、④公用状・任務に関するものとして、年貢通知八・代官交代及び出張通知三・宗門改等通知二・治安関係通知二・谷中寄合通知一、⑤その他六となる。

これらのうち①～③などの書式は、いわゆる「往来物」に原典を求めることが出来るものであろうが、単に書式から手紙文の書き方・宛名の書き方を習得するためだけの一般的なものではなく、その内容は生活に則したものとなっており、差出者・宛名・文中の事項などは架空のものではなく、地域における日常生活上

の知識も得られるものとなっている。

〔生活圏と産業〕

書状形式をもつこれら手習本史料には、宛名及び文中に実在地名が記されており、これらから須納谷村及び小中屋家の生活圏ともいえるものが推定される。

須納谷村の位置する西谷地区では、丸山・小原・杖・須納谷の各村名が、白山麓の天領地区では牛首・尾添・嶋・鴛ヶ谷の各村名が出てきており、天領地区以外では現小松市域になる大杉上・西俣・布橋の各村名が見られ、日常生活上の往来範囲が浮き上がってくる。

宛名も含め文中からは、より広範囲の交易地名も出てくる。例示すると、硯の購入に金沢、鴨の購入に松岡（現小松市域）、鍬柄の搬出先に尾小屋（同）、葉の購入に越前の勝山、蚕種の購入先に越中の井波という具合である。

交易圏に対する搬出物を見ると、先に尾小屋村への鍬柄というのがあるが、これは鉾山への資材供給地として須納谷村が位置していたことを示し、文中から鍬柄同様に山林資源としての杉板・檜板の生産が認められ、雇人の依頼状からも木挽・薪切と、山林資源に係わる事例が出てくる。さらに搬入物からは養蚕の存在、貸借・売買の証書類からは農業生産面で「むつし」の存在が示されている。

〔公用文と手習本〕

以上、手紙文の内容は実生活に結びついた教養・知識を伝えるものであることを述べたが、公用文についても村役人を勤める小中屋家にとって必須の内容を持つもので、廻状の形態について見ると、十八ヶ村内の用件伝達の場合には「廻状」、代官に係わる用件伝達の場合は「急廻状」・代官の当地出向などの伝達は「大急廻状」と廻状の具体例を示すものとなっている。

手習本も、字句や用語をただ習得するのみでなく、生活に必要な白山麓の村名・須納谷村の屋号をはじめとし一般教養としての国名・月の異名・穀物名などがテキストとなっていた。

以上、小中屋文書中の手習本類は、生活に密着した内容を持ち、その形態・内容から小中屋家オリジナルのテキストとして作成されたものと思われ、その内容は須納谷村の様子を伝えてくれる史料ともなるものである。（金沢市立玉川図書館・資料館客員研究員）

小中屋文書手習本一覽

No	宛 名	内 容
1.		義經書狀等
2.	山屋染右衛門	檜板注文書
3.	今江屋清兵衛	杉板出来通知狀
4.	善兵衛	杉板出来通知狀
5.	福居領權右衛門	養受取出向通知狀
6.	岸破地動村甚大夫	酒注文書
7.	能登屋善七	死去悔狀
8.	大館伊予守	病氣見舞狀
9.	今江屋得兵衛	馳走礼狀
10.	越中屋左次兵衛	硯買入依頼狀（金沢）
11.	小夜之助	鉄砲者派遣依頼（狼）
12.	磯十郎	改年祝狀
13.	次郎左衛門	音信尋狀
14.	鴛ヶ谷村善六	稽古手書依頼狀
15.	組中庄屋衆	年貢皆済向通知狀
16.	案平	鴨買入依頼狀（松岡）
17.	俵屋有兵衛	借用者返済通知狀
18.	勝山与兵衛	陣屋詰見舞狀
19.	若村新之丞	肴贈答狀
20.	蛭川屋治平	鍛柄値段音信狀
21.	古橋勝兵衛	病氣見舞狀
22.	笹島武兵衛	茶依頼狀
23.	大墨屋亦七	鯉贈答狀
24.	表屋新兵衛	彼一儀二付御報告願狀
25.	小原屋善大夫	御礼之一筆書
26.	春木太右衛門	薪切二付利免者雇願狀
27.	紺屋九右衛門	染物御渡依頼狀
28.	誰殿	死去弔狀
29.	大杉上村弥三右衛門	詔物御渡依頼狀
30.	小林团右衛門	筆墨之趣被見返狀
31.	本江村太郎右衛門	留守之義謝狀
32.	牛首村喜左衛門	新春祝狀
33.	中齊屋仁兵衛	音信書狀
34.	道場甚右衛門	宗門改二付書狀
35.	仁大夫	手本稽古督励狀
36.	中齊屋与三兵衛	餅米依頼狀
37.	山屋染右衛門	檜板依頼狀
38.	杖村惣左衛門	返書延引二付一札
39.	源右衛門	音信礼狀
40.	同	借銀依頼断狀
41.	中川浅右衛門	御取持之礼狀
42.	布橋村半右衛門	芳札之旨承知返狀
43.	杖村藤左衛門	精進料理進上通知狀
44.	越前屋冲右衛門	屏風借用依頼狀
45.	磯十郎	改年祝狀
46.	上江屋七郎兵衛	明晩御出依頼狀
47.	須納谷村次兵衛	盜賊人二付通知狀
48.	杖村藤右衛門	新春祝狀
49.	浜屋磯左衛門	御代官様御替二付通知
50.	毛利隼之助	歳暮受納狀
51.	磯左衛門	鍛柄之義通知狀
52.	上総屋仁兵衛	年頭礼之礼狀
53.	細川半之丞	非時申度御越依頼狀
54.	大和屋安右衛門	新春祝狀
55.	長谷部伝内	越中ヨリ初種売来通知
56.	朝倉屋伝右衛門	木綿依頼狀
57.	松平泉守	鯉贈答狀
58.	新陸	双樽・鯛受納礼狀
59.	山城屋有兵衛	絹帯買入依頼狀
60.	友達衆中	稽古手本失念二付一札
61.		
62.		武家心得書
63.		
64.		
65.		
66.		
67.		和歌
68.		
69.		武家心得書
70.		蜜柑受納礼狀
71.		漢詩
72.		改年祝狀
73.		春寒時候書狀
74.	長崎数馬	本未出来方尋狀
75.		糸相場尋狀
76.		鏡餅等之礼狀

77.		食事招待狀
78.		家康書狀
79.	組頭衆中	御公儀配符相談通知狀
80.		越年祝狀
81.		御休祿方二付書狀
82.	政之丞	梅花一枝被下願狀
83.	志次原村竹内甚順	俸煩二付診察願狀
84.	金沢屋角兵衛	木綿注文書
85.	山崎村亦八	法事二付梅花被下願狀
86.	中齊屋与三兵衛	鍛柄尾小屋村出通知狀
87.	茂右衛門	薪切二付利免者雇願狀
88.	勘之助	音信返書
89.	清兵衛	留守二付予定通知狀
90.	前山平十郎	東山之花見誘狀
91.	尾添村弥四郎	歳暮之礼狀
92.	同行中	井波ヨリ子種売来二付
93.		支配方証文（前後欠）
94.	治郎九郎	木挽一人雇願狀
95.	西俣村惣右衛門	食事招待狀
96.	森川村安右衛門	麦飯申入狀
97.	墨屋理兵衛	木綿注文書
98.	小原村善大夫	音信書狀
99.	菊之丞	祝儀二付盡借用願狀
100.	嶋村治兵衛	馳走之礼狀
101.	丸山村喜兵衛	珍物御相伴之礼狀
102.	歳徳御神	新年祝詞
103.		和歌
104.		東山道等国名書
105.		新春祝詞
106.		豊臣方檄文
107.		義經書狀
108.		同
109.		月之異称書上
110.		いろは手本
111.		穀物名書上
112.		須納谷村名書上
113.		須納谷村屋号書上
114.		質物証文
115.		屋敷売渡証文
116.		同
117.		質証文
118.		小中屋金銭覚
119.		一作卸むつし証文之事
120.		家屋証文
121.		悔狀
122.		借用証文
123.		皆納金割付廻狀
124.	廻狀文体	初納金割付廻狀
		須納谷村皆納金廻狀
		谷中割寄合廻狀
		御代官様替二付急廻狀
		本保御役所御出二付 大急廻狀
125.		改年祝狀
		同 返狀
		暑中見舞狀
		悔狀
		馳走礼狀
		寒中見舞狀
		谷中割寄合廻狀
		売渡申むつし証文之事
		田地質証文之事
126.		売渡申六敷証文之事
		借用申銀子証文之事
		新年祝語
		一作卸申むつし証文
		初納金割付
		皆納金定納
		升物之覚
		買物之覚
		暑中見舞狀
		借金依頼狀
		年末挨拶狀
		音信書狀
		質入証文
		白山麓村名書
127.		金子借用証文
128.		売渡申むつし証文
129.		預申銀子之事
130.		借用証文